

日経平均株価の銘柄定期入れ替え等について

日本経済新聞社は、日経平均株価の構成銘柄について、以下のとおり定期入れ替え等を実施します。また、日経平均株価の一部構成銘柄が実施を予定している株式分割に対する算出上の取り扱いを以下のとおりとします。

1. 定期見直しによる銘柄入れ替え等について

銘柄入れ替え（4月1日）

採用	除外
3092 ZOO (1)	2531 宝ホールディングス
6146 ディスコ (0.2)	5232 住友大阪セメント
6526 ソシオネクスト (1)	5541 大平洋金属

注) 採用銘柄のカッコ内は採用時の株価換算係数

定期見直し基準に照らし、市場流動性の観点からディスコ（セクター・技術）とソシオネクスト（同・技術）、セクター間の銘柄過不足調整によりZOO（同・消費）を採用します。また、市場流動性の観点から宝ホールディングス（同・消費）、住友大阪セメント（同・素材）、大平洋金属（同・素材）を除外します。銘柄は4月1日の算出から入れ替えます。

注) セクターは日経業種分類（36分類）を技術、金融、消費、素材、資本財・その他、運輸・公共の6つに集約したものです。

株価換算係数変更（4月1日）

銘柄	現 → 新	事由
9843 ニトリホールディングス	0.3 → 0.5	分割採用（2回目）

ニトリホールディングスは、昨年秋に実施した定期見直しの際に、当該銘柄の1日平均売買代金が想定される組み入れウエートと比べて相対的に少ないと判断し、当初予定した株価換算係数（0.5）の1/2（0.3、0.1刻みで切り上げ）で採用しました。今回の定期見直しで当初予定した株価換算係数に引き上げます。

ニュースタグ：日経平均、銘柄入替、株価換算係数、重要なお知らせ

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 インデックス事業室 (index@nex.nikkei.co.jp)

2. 株式分割の取り扱いについて

次の12銘柄が実施を予定する株式分割に対しては、それぞれの分割比率に合わせて、3月28日の算出から株価換算係数を変更します。指数算出に用いる株価の水準が株式分割の前後で変わらないように、当該銘柄の株価換算係数で調整するものです。

株価換算係数変更（3月28日）

銘柄	現 → 新	事由
2801 キッコーマン	1 → 5	1：5 分割
4543 テルモ	4 → 8	1：2 分割
4901 富士フイルムホールディングス	1 → 3	1：3 分割
6702 富士通	0.1 → 1	1：10 分割
7011 三菱重工業	0.1 → 1	1：10 分割
7269 スズキ	1 → 4	1：4 分割
8630 SOMPOホールディングス	0.2 → 0.6	1：3 分割
8725 MS & ADインシュアランスグループホールディングス	0.3 → 0.9	1：3 分割
8801 三井不動産	1 → 3	1：3 分割
9020 東日本旅客鉄道	0.1 → 0.3	1：3 分割
9021 西日本旅客鉄道	0.1 → 0.2	1：2 分割
9107 川崎汽船	0.3 → 0.9	1：3 分割

ニュースタグ：日経平均、銘柄入替、株価換算係数、重要なお知らせ

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 インデックス事業室 (index@nex.nikkei.co.jp)